

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【公表番号】特表2006-503082(P2006-503082A)

【公表日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-004

【出願番号】特願2004-543863(P2004-543863)

【国際特許分類】

C 0 7 C	235/84	(2006.01)
A 6 1 K	31/167	(2006.01)
A 6 1 K	31/18	(2006.01)
A 6 1 K	31/36	(2006.01)
A 6 1 K	31/4035	(2006.01)
A 6 1 K	31/4045	(2006.01)
A 6 1 K	31/4196	(2006.01)
A 6 1 K	31/428	(2006.01)
A 6 1 K	31/4402	(2006.01)
A 6 1 K	31/4406	(2006.01)
A 6 1 K	31/4439	(2006.01)
A 6 1 K	31/451	(2006.01)
A 6 1 K	31/495	(2006.01)
A 6 1 K	31/496	(2006.01)
A 6 1 K	31/505	(2006.01)
A 6 1 K	31/5375	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 C	233/80	(2006.01)
C 0 7 C	237/40	(2006.01)
C 0 7 C	311/19	(2006.01)
C 0 7 D	209/16	(2006.01)
C 0 7 D	209/44	(2006.01)
C 0 7 D	211/22	(2006.01)
C 0 7 D	213/30	(2006.01)
C 0 7 D	213/40	(2006.01)
C 0 7 D	213/50	(2006.01)
C 0 7 D	213/74	(2006.01)
C 0 7 D	239/47	(2006.01)
C 0 7 D	249/14	(2006.01)
C 0 7 D	277/82	(2006.01)
C 0 7 D	295/10	(2006.01)
C 0 7 D	295/14	(2006.01)
C 0 7 D	295/18	(2006.01)
C 0 7 D	317/66	(2006.01)
C 0 7 D	401/04	(2006.01)
C 1 2 N	9/99	(2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 235/84 C S P

A 6 1 K 31/167

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/36

A 6 1 K 31/4035

A 6 1 K 31/4045

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 31/428

A 6 1 K 31/4402

A 6 1 K 31/4406

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 31/451

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 31/5375

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 33/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 C 233/80 Z N A

C 0 7 C 237/40

C 0 7 C 311/19

C 0 7 D 209/16

C 0 7 D 209/44

C 0 7 D 211/22

C 0 7 D 213/30

C 0 7 D 213/40

C 0 7 D 213/50

C 0 7 D 213/74

C 0 7 D 239/47 Z

C 0 7 D 249/14 5 0 5

C 0 7 D 277/82

C 0 7 D 295/10 Z

C 0 7 D 295/14 A

C 0 7 D 295/18 Z

C 0 7 D 317/66

C 0 7 D 401/04

C 1 2 N 9/99

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

【 手続補正書 】

【 提出日 】 平成18年10月13日 (2006.10.13)

【 手続補正 1 】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

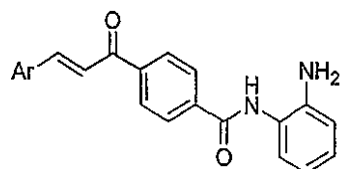
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の式

【化1】



(式中、Arはアリールまたはヘテロアリールであり、それらのそれぞれは場合によっては1-3個の置換基によって置換されている)

を有する化合物、または薬学上許容可能なその塩。

【請求項2】

Arがアリールまたはピリジニルである、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

Arがフェニルである、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

Arがハロ、場合によってはハロで置換された C_1-C_6 -ヒドロカルビル、場合によってはハロで置換された C_1-C_6 -ヒドロカルビルオキシからなる群から選択される1-3個の置換基で置換されている、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

Arが下記の

【化2】

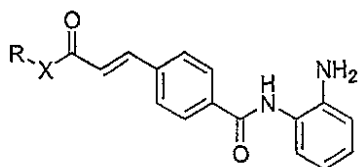
	および		

の1つから選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項6】

下式

【化 3】



(式中、Xは-N(R¹)-、-O-、または-S-であるか、またはXは窒素を含むヘテロシクリルであり、但し、窒素は隣接カルボニルに共有結合し且つ場合によっては1-3個の置換基で置換されており、

RおよびR¹は独立して-H、または 場合によっては置換されたa) C₁-C₆-ヒドロカルビルまたはb) R²-L-であり、但し、R²はアリールまたはヘテロアリールであり、LはC₀-C₆-ヒドロカルビル-L¹-C₀-C₆-ヒドロカルビルであり、L¹は共有結合、-O-、-S-、または-NH-である)

を有する化合物、または薬学上許容可能なその塩。

【請求項 7】

Xが-NH-、-O-、モルホリン-4-イル、ピペリジン-1-イル、ピペラジン-1-イル、またはピロリジン-1-イルである、請求項6に記載の化合物。

【請求項 8】

Xが-N(R¹)-であり、但し、R¹は場合によっては置換メチルまたはエチルである、請求項6に記載の化合物。

【請求項 9】

Xが-N(R¹)-であり、但し、R¹は シアノエチルまたはピリジニルメチルである、請求項6に記載の化合物。

【請求項 10】

Xが-N(R¹)-であり、RがR²-L-であり、但し、R²がフェニル、ピリジニル、インジル、またはインドリルであり、Lが共有結合、メチル、エチル、またはオキシエチルである、請求項6に記載の化合物。

【請求項 11】

R-X-の組合せが下記の

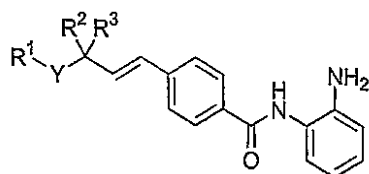
【化 4】

から選択される、請求項6に記載の化合物。

【請求項 1 2】

下式

【化 5】



(式中、Yは-N(R⁴)-、-O-、-S-、-N(R⁴)SO₂-、-SO₂-N(R⁴)-、-SO₂-、-N(R⁴)-C(O)-、-C(O)-N(R⁴)-、-NHC(O)NH-、-N(R⁴)C(O)O-、-OC(O)N(R⁴)-、または共有結合であり、

R¹、R²、およびR³は独立して-Hであるか、またはR^a-C₀-C₆-ヒドロカルビルであって、但し、R^aは-Hであるか、またはR^aはアリールまたはヘテロアリールであり、それらのそれぞれは、場合によっては1-3個の置換基で置換されており、

R⁴は-H、-C(O)-R^b、-C(O)O-R^b、-C(O)NH-R^b、またはR^c-C₀-C₆-ヒドロカルビルであり、但し、

R^bは-Hまたは-C₁-C₆-ヒドロカルビルであり、

R^cは-H、またはアリールまたはヘテロアリールであり、それらのそれぞれは場合によっては1-3個の置換基で置換されている)

の化合物、または薬学上許容可能なその塩。

【請求項 1 3】

R²およびR³が両方とも-Hである、請求項12に記載の化合物。

【請求項 1 4】

Yが-NH-、-SO₂-NH-、または-N(R⁴)-であり、但し、R⁴は-C(O)O-C₁-C₆-ヒドロカルビルである、請求項12に記載の化合物。

【請求項 15】

R^1 がアリール、ベンゾチアゾリル、ピリミジニル、トリアゾリル、ベンゾジオキソレニルまたはピリジニルであって、それらのそれぞれが場合によっては 1-3 個の置換基で置換されている、請求項 12 に記載の化合物。

【請求項 16】

R^1 が C_1 - C_6 -ヒドロカルビル、 C_1 - C_6 -ヒドロカルビルオキシ、ハロ、メチルチオ、およびアセチルから独立して選択された 1-3 個の置換基で置換されている、請求項 15 に記載の化合物。

【請求項 17】

R^1 -Y が下記の

【化 6】

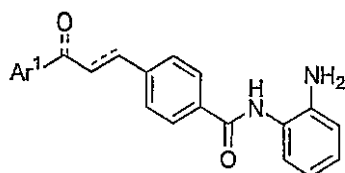
			および

から選択される、請求項 12 に記載の化合物。

【請求項 18】

式

【化 7】



(式中、 Ar^1 が場合によっては $-NO_2$ 、 CH_3O- 、およびモルホリニル(例えば、モルホリン-4-イル)から独立して選択される 1-3 個の置換基で置換されているアリールまたはヘテロアリールである)

の化合物、または薬学上許容可能なその塩。

【請求項 19】

Ar^1 が、場合によっては $-NO_2$ 、 CH_3O- 、およびモルホリニル(例えば、モルホリン-4-イル)から独立して選択される 1-3 個の置換基で置換されているアリールである、請求項 18 に記載の化合物。

【請求項 20】

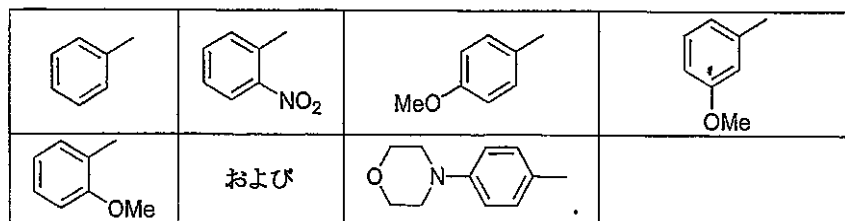
Ar^1 が、場合によっては $-NO_2$ 、 CH_3O- 、およびモルホリニル(例えば、モルホリン-4-イル

)から独立して選択される1-3個の置換基で置換されているフェニルである、請求項18に記載の化合物。

【請求項21】

下式

【化8】



から選択される、請求項18に記載の化合物。

【請求項22】

請求項1-21のいずれか一項に記載の化合物、および薬学上許容可能なキャリアー、賦形剤、または希釈剤を含んでなる、組成物。

【請求項23】

細胞のヒストンデアセチラーゼを阻害する方法であって、ヒストンデアセチラーゼの阻害が所望な細胞を請求項1-21のいずれか一項に記載のヒストンデアセチラーゼの阻害剤と接触させることを含んでなる、方法。

【請求項24】

細胞増殖性疾患または疾病にかかっている哺乳類を請求項22に記載の組成物の治療上有効量で治療する方法。

【請求項25】

哺乳類がヒトである、請求項24に記載の方法。